

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームしのろ三清荘	階数	地上4F
建設地	札幌市北区篠路5条8丁目214-5、217-3、382	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、指定なし	平均居住人員	100人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2017年8月20日
敷地面積	4,959 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	1,928 m <sup>2</sup>	確認日	2017年8月28日
延床面積	5,017 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 89% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 89%

④上記+: 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>地域の新しい顔となる施設として費用対効果の高い合理的な設計とした。</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>設備システムの高効率化を図り省エネルギー化を図った。また、地域の気候条件に配慮し、適切な断熱材の採用、開口部は断熱サッシを用いることで外部負荷の低減を図った。</p>	
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>乾式工法の採用により、躯体と仕上材料の分別に配慮した。</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>敷地周囲には生垣をめぐらせ周辺環境からの景観に配慮した。敷地内は維持管理のしやすさの面から中高木は設けず芝生張りとしヒートアイランド現象の抑制に配慮した計画とした。</p>	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>利用者の主な出入口のポーチ周りと職員入口及び厨房出入口周りには電気式ロードヒーティングによる融雪装置を設け安全性に配慮した。また建物周囲は余裕をもった雪下ろしスペースと雪置場を確保し除雪のしやすさに配慮した計画としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE Sapporo2014v1.2  
 (仮称)特別養護老人ホームしのろ三清荘

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	A	B	C	D										
Q1 建築物の環境品質														2.3
Q1 室内環境											0.40		-	2.2
1 音環境										2.6	0.15	2.3	1.00	2.5
1.1 騒音										3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音										3.0	0.40	2.4	0.40	
1 開口部遮音性能										3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能										3.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音										1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境										1.8	0.35	2.0	1.00	1.8
2.1 室温制御										2.6	0.50	3.0	0.50	
1 室温										2.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能	A									3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性										3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御										1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式										1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境										2.3	0.25	2.3	1.00	2.3
3.1 昼光利用										2.4	0.30	2.4	0.30	
1 昼光率										2.0	0.60	2.0	0.60	
2 方位別開口											-	3.0	-	
3 昼光利用設備	A									3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策										2.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御	A									2.0	1.00	3.0	1.00	
2 網り込み対策											-		-	
3.3 照度										2.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御										3.0	0.25	1.0	0.25	
4 空気質環境										2.3	0.25	3.0	1.00	2.4
4.1 発生源対策										3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質										3.0	1.00	3.0	1.00	
2 空気清浄装置											-		-	
4.2 換気										2.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量										3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能										3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮										1.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理										1.0	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視										3.0	-		-	
2 喫煙の制御										1.0	1.00		-	
Q2 サービス性能											0.30		-	3.0
1 機能性										3.1	0.40	4.4	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ										3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性					居室13.11㎡を確保。事務室7.7㎡/人を確保。					3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応										3.0	-	5.0	-	
3 バリアフリー計画										3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性										4.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観										5.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース										3.0	-		-	
3 内装計画					「やすらぎの空間」をテーマに模型やパースを用いた内装検討を行っている					4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理										2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計										3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保										2.0	0.50		-	
3 衛生管理業務											-		-	
2 耐用性・信頼性										2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震										3.0	0.50		-	
1 耐震性										3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能										3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数										3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数										3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					B					3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					B					3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					B					3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					B					3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					B					3.0	0.20		-	
2.4 信頼性										2.6	0.20		-	
1 空調・換気設備										3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備										2.0	0.20		-	
3 電気設備										3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法										3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備										2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性										2.6	0.30	2.9	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり										2.8	0.30	2.8	0.50	
1 階高のゆとり										2.0	0.60	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					居室の大部分は壁長さ比率0.24としている。(3.2/13.11)					4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり										3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性										2.2	0.40		-	
1 空調配管の更新性										2.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性										2.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性										1.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性										1.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性										3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保										3.0	0.20		-	

CASBEE Sapporo2014v1.2  
(仮称)特別養護老人ホームしのろ三清荘

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目		A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理	
	配慮項目				重点評価項目		A		B		C		D	
環境配慮設計の概要記入欄							建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体					
							評価点	重み係数	評価点	重み係数				
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>							-	0.30	-	-	-	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出							1.0	0.30	-	-	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮							2.0	0.40	-	-	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮							2.5	0.30	-	-	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上							3.0	0.50	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上							2.0	0.50	-	-	-	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							-	-	-	-	-	-	-	2.9
<b>LR1 エネルギー</b>							-	0.40	-	-	-	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制							2.0	0.20	-	-	-	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用							3.0	0.10	-	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化							4.0	0.50	-	-	-	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)							4.0	1.00	-	-	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)							-	-	-	-	-	-	-	-
4 効率的運用							2.5	0.20	-	-	-	-	-	2.5
集合住宅以外の評価							2.5	1.00	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング							3.0	0.50	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制							2.0	0.50	-	-	-	-	-	-
集合住宅の評価							-	-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング							3.0	-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制							3.0	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>							-	0.30	-	-	-	-	-	2.6
1 水資源保護							3.0	0.20	-	-	-	-	-	3.0
1.1 節水							3.0	0.40	-	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	-	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無							3.0	0.70	-	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無							3.0	0.30	-	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減							2.5	0.60	-	-	-	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減							2.0	0.14	-	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用							-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用							3.0	0.29	-	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用							1.0	0.29	-	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材							-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み							4.0	0.29	-	-	-	-	-	-
スケルトンインフィルにより構造と内装を容易に分ける工法としている。							4.0	0.29	-	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避							2.7	0.20	-	-	-	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用							3.0	0.30	-	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避							2.6	0.70	-	-	-	-	-	-
1 消火剤							2.0	0.33	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)							3.0	0.33	-	-	-	-	-	-
3 冷媒							3.0	0.33	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>							-	0.30	-	-	-	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮							3.4	0.33	-	-	-	-	-	3.4
2 地域環境への配慮							2.3	0.33	-	-	-	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止							3.0	0.25	-	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善							2.0	0.50	-	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制							2.5	0.25	-	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減							3.0	0.25	-	-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制							3.0	0.25	-	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制							3.0	0.25	-	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制							1.0	0.25	-	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮							3.0	0.33	-	-	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	-	-	-	-	-	-
1 騒音							3.0	1.00	-	-	-	-	-	-
2 振動							-	-	-	-	-	-	-	-
3 悪臭							-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制							3.0	0.40	-	-	-	-	-	-
1 風害の抑制							3.0	0.70	-	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制							3.0	-	-	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制							3.0	0.30	-	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制							3.0	0.20	-	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策							3.0	0.70	-	-	-	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0	0.30	-	-	-	-	-	-

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

<b>1 建物概要</b>		BEE	<b>0.6</b>	BEEランク	<b>B<sup>-</sup></b>
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームしのろ三清荘	<b>総合評価</b> ★★☆☆☆			
建物用途	病院				
延床面積	5,016.88 m <sup>2</sup>				

<b>2 重点項目への取り組み</b>		<b>レーダーチャート</b>
地球 温暖化 対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	<p>この建物は特に <b>省エネルギー性能</b> が優れています</p>
	<b>省資源等</b>	
	<b>緑化</b>	
	<b>雪処理</b>	

<b>3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア</b>					
<b>A 省エネルギー</b>				<b>合計 16点 / 24点</b>	
Q1 温熱環境	スコア	1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	2.0
Q1 光・視環境	スコア	2.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	8.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.0
<b>B 省資源等</b>				<b>合計 13点 / 23点</b>	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
<b>C 緑化</b>				<b>合計 5点 / 16点</b>	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0			
<b>D 雪処理</b>				<b>合計 1点 / 3点</b>	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0

<b>4 設計上の配慮事項</b>		
<b>A 省エネルギー</b>		
設備システムの高効率化を図り省エネルギー化を図った。また、地域の気候条件に配慮し、適切な断熱材の採用、開口部は断熱サッシを用いることで外部負荷の低減を図った。		
<b>B 省資源等</b>	<b>C 緑化</b>	<b>D 雪処理</b>
乾式工法の採用により、躯体と仕上材料の分別に配慮した。	敷地周囲には生垣をめぐらせ周辺環境からの景観に配慮した。敷地内は維持管理のしやすい面から中高木は設けず芝生張りとしヒートアイランド現象の抑制に配慮した計画とした。	利用者の主な出入口のポーチ周りと職員入口及び厨房出入口周りには電気式ロードヒーティングによる融雪装置を設け安全性に配慮した。また建物周囲は余裕をもった雪下ろしスペースと雪置場を確保し除雪のしやすさに配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される